

第2学年 地しんのしくみとひがい

1 教科等名

特別活動 学級活動 (防災教育)

【学級活動 (2) 日常の生活や学習への適応及び健康安全

カ 心身ともに健康で安全な生活態度の育成】

2 ねらい

地震が起きる仕組みを大まかに知り、地震から身を守る方法を考える。

3 展開

	学習活動	指導上の留意点
導入	<p>1 地震が時々起こることにふれ、本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>じしんがおきたときどうしたらいいか、かんがえよう。</p> </div>	
展開	<p>2 地震の起きるのしくみを大まかに知る。</p> <p>3 さまざまな場所で地震が起こったらどうなるか想像し、どのように身を守ればよいか考える。</p> <p>(1) 学校にいるとき (2) 家にいるとき (3) 外にいるとき (4) 海や山にいるとき</p> <p>○ 地震が起きたら、どんなところが危ないと思いますか。 ○ けがをしないために、自分だったらどうしますか。</p> <p>〈共通〉・あわてない。・危険なものから離れる。 〈学校〉・机の下にもぐる。・校庭や体育館の中心に集まる。 〈家〉・テーブルや机の下にもぐる。・倒れてきそうな家具から離れる。・クッションなどで頭を守る。 〈外〉・ブロック塀や自動販売機から離れる。 ・丈夫な建物の中に避難する。 ・かばんなどで頭を守る。 〈海や山〉・高台へ避難する。(海) ・崩れそうながけから避難する。(山)</p>	<p>副読本P. 48</p> <p>DVD「災害から命を守るために」 学習シート</p>
終末	<p>4 地震から身を守るために大切なことを確認し、感想を書く。</p>	<p>学習シート</p>

4 授業の様子等



児童の感想

- ・建物があるときは、建物の近くに行かないとわかってよかったです。
- ・外で遊んでいるとき、地震が起こればすぐ教室に入るのかなと思ったけど、校庭の真ん中に行くということがわかりました。
- ・広い所にいるときは真ん中に集まって、教室にいるときは机の下にかくれるということを知られてよかったです。
- ・山にいたとき、がけの近くから逃げることを初めて知りました。
- ・今日勉強したことを思い出して行動して、自分で自分の命を守れるようにしたいです。

5 指導を終えて

○いろいろな場所によって避難するところが違うことを、子どもたちなりに理解していた。特に、山のがけ近くについては新鮮だったようだ。

▲いろいろな場所を一度に学習したので、定着したかどうか不安である。また、「自分たちの地域だったら」・・・と身近な所にも触れられればよかったのかもしれない。

6 釜石市津波防災教育のための手引き（改訂版）との関連 【なし】

7 連携した関係機関等 【なし】